

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 慶應義塾大学医学部微生物学免疫学教室
吉村 昭彦 教授
2. 演 題 転写因子 NR4a による T 細胞の疲弊と寛容
T cell exhaustion and tolerance by NR4a transcription factors
3. 日 時 2020年2月10日(月)17:00～19:00
4. 場 所 M&D タワー2階 共用講義室1

5. 要 旨

我々は TCR 刺激によって誘導される核内受容体 NR4a ファミリーが Foxp3 の転写を直接活性化し制御性 T 細胞(Treg)の分化や維持に必須の役割を果たすことを報告した(Nature Immunol. 2013; 14: 230)。Nr4a は Treg のみならず PD-1 陽性の疲弊した CD8 陽性 T 細胞でも強く発現誘導される。Nr4a は PD-1 などの抑制性受容体遺伝子のエンハンサー領域に結合し発現を安定化する一方で炎症性サイトカインの産生を抑制しアナジー状態を誘導することがわかった(Nature. 2019; 567: 530)。Nr4a を阻害することによって Treg の抑制と CD8T 細胞の活性強化を介して抗腫瘍免疫を増強することが可能である(Cancer Res. 2018, 78: 3027)。

連絡先: 東 みゆき (分子免疫学分野 内線 5935)